



芝浦だより



港区立芝浦小学校
令和6年度1月号

乙巳（きのとみ）の年にあたり

校長 井田 孝

令和7（2025）年を迎えました。新年 おめでとうございます。本年も、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



今年の干支は乙巳（きのとみ）です。蛇には一般的にネガティブなイメージもありますが、たくましい生命力と脱皮するたびに表面の傷が治癒していくことから、医療、再生のシンボルでもあります。昔から蛇の登場する夢を見ると吉兆とされ、蛇皮の財布や蛇の抜け殻を財布に入れて持ち歩くと金運が上がるとも言われています。

ところで、皆さんは「大化の改新」という歴史用語を覚えていらっしゃるでしょうか。645年に中大兄皇子（のちの天智天皇）、中臣（藤原）鎌足らが政権の中心にいた蘇我氏を滅ぼし新政権を樹立した出来事として、私は記憶していました。ところが、最近ではこの政変を「乙巳（きのとみ）の変」と呼んでいます。60年×23をすると1380年、これに645年を加えると2025年。計算してみると今年と同じ干支ということがわかります。ちなみに今は、645年から652年頃にかけて行われた政治改革のことを「大化の改新」としています。

昨年末になりますが、音楽会には多くの地域、保護者の皆様にご来校いただき、子供たちに温かい拍手を送ってくださり、感謝申し上げます。また各町会では、もち米を蒸す湯気が立ち上る中、活気あふれる餅つき大会が催され、子供たちや教職員がつきたてのお餅をいただきました。地域の連帯感を高め喜びを分かち合う伝統行事に参加させていただき、ありがたい限りです。学校では、始業前の時間に有志児童対象にモーニングランニングを始めました。学級によっては、ちょっとした隙間の時間等を使って百人一首にも取り組んでいます。新年を迎え、新たな目標をかかげて、今年が誰にとっても飛躍の年になるよう、指導して参ります。

来年度より芝浦アイランドすべてが芝浦小の学区域となり、4月に入学する児童数の増加が予想されます。児童数増加も考慮しながら、年末に保護者の皆様、地域の皆様にご協力いただいた外部評価、学校評価を集約し、来年度の教育計画、運動会等の学校行事、にじ校舎を含めた教室配置等について検討して参ります。乙巳（きのとみ）の本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本校の教育活動について

今月の目標

生活 校内のきまりを守ろう

給食 給食について考えよう

保健 かぜや感染症を予防しよう

清掃 隅々まで掃除しよう

生活科の学習について

生活科担当

生活科の学習の基本は「体験すること」。いろいろな体験を通して、自分自身、身近な人々、社会、自然について一体的に学ぶ教科です。「自分でできる」「自分で考える」「考えたことを表す・伝える」「もっと学びたいくなる」。生活科がめざしているのは、こんな学びです。花や野菜を育てたり、季節の遊びやおもちゃを工夫して作ったり、町の素敵なお店を探したり、家族をニコニコにするために自分にできることを考えて試したり…。保護者や地域の皆様のご協力のもと、学習をすすめています。

手から学ぶ家庭科の学習

家庭科専科

先月、5年生は、煮干しからだしをとったお味噌汁と、水加減、火加減に気を付けてお鍋でご飯を炊く実習、6年生は安全な包丁の使い方を学ぶためのじゃがいもの皮むき、じゃがいもを使った2種類の実習を行いました。手間をかけ、素材の性質を知って調理することで、よりおいしく栄養もとれること、安全に刃物を使える技能は、動物にはない人間の力であることを学びました。令和の世の中には、便利な道具や材料が豊富にあふれています。そんな中で、自分の手を使って、素材の性質を科学的に生かす大切さを学習していきたいと願っています。

書き初め展

書写担当

1月9日（木）から1月14日（火）に書き初め会があります。「書き初め」とは、日本の伝統行事の一つであり、新年になって初めて筆で字や絵をかくことです。1年の抱負や計画、おめでたい言葉をしたため、目標成就や新年のお祝いをする意味が込められています。本校では、1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆で、作品は1月20日（月）から1月24日（金）に書き初め展として各学年の廊下に飾られます。子供たちが一文字一文字丁寧に書きあげる作品をぜひご覧ください。

集団の場でこそ経験できること、学べること

生活指導主任

学校という場に通って学習をする意義の一つに、社会性を学ぶことがあります。平たく言えば、他者と関わる態度、行動です。ルール・マナーを守るということ、協調性を養うことも言えます。集団で直接関わるからこそこれらを習得していただけます。

集団生活をしていれば、常に自分が好むように物事が進むとは限りません。我慢することや人に譲ることも身に付ける必要があります。時にはうまくいかないことやトラブルに直面し、それを乗り越えていく経験も、今後の糧となります。

お子さんが「困っていること」「不満なこと」を話すときには、じっくりと話を聞いてあげてください。同時に、「自分に都合の悪いことはなかなか話さない」であろうことは、心得たうえで、理解に努めることが肝要だと思います。

保健室より

かぜとインフルエンザ、どう違う？

昨年も毎朝の健康観察や早退時のお迎え等、たくさんのご協力をいただきありがとうございました。令和7年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年は1年を通して、様々な感染症が発生しました。これからの時期、気を付けたいのが「インフルエンザ」です。この季節、私たちにとって大敵である「インフルエンザ」ですが、一般的な「かぜ」と何が違うのでしょうか。大まかな症状や予防法は似ていますが、様々な違いがあります。

	かぜ	インフルエンザ
発症の早さ	徐々に発症する	急激に発症する
主な症状	せき、鼻水、鼻づまり、喉の痛みなど軽い症状が多い	強い全身症状（関節痛、筋肉痛など）が出やすい
発熱時の体温	あっても37℃台が多い	38℃を超える
悪寒、倦怠感	軽め、またはほとんどない	強く、全身で生じる
主な病原体	ライノウイルスなど	インフルエンザウイルス
感染力	それほど強くない	強い。短期間で多くの人に感染する
合併症	ほとんどみられない	肺炎や脳症などの合併症もみられる

また、「インフルエンザ」は「発症して5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで」出席停止扱いになることが定められています（※発症した日を0日と数えます）。体調が悪く何か症状がある際には、くれぐれも無理をせず欠席し「自宅で様子を見る」または「かかりつけ医に相談」等をしてください。また、本人に風邪等の症状がみられる場合は、熱がなくても早退のお願いをすることがあります。今年もご協力の程よろしくお願いいたします。

給食室より

◎栄養士のつぶやき 全国学校給食週間 国際科と給食のコラボレーション

栄養士

新しい年を迎えました。みなさんはどんな冬休みをすごしていたでしょうか？1月24日から1月30日は、『全国学校給食週間』です。全国学校給食週間は学校給食の意義や役割などについて多くの方に知ってもらい、学校給食の充実と発展を図ることを目的として定められました。日本の学校給食の起源は、明治22年に貧困児を対象に昼食を無償で提供したものだといわれています。

献立は、おにぎり、塩さけ、菜の漬物だったそうです。令和7年も、「栄養バランスが取れた豊かな献立で子供たちの健康や成長を支え、地域の地場産物や食文化なども学べる給食」を芝浦小の子供たちに提供できるよう、栄養士・調理員一同頑張っていきます。



4年生国際科の“What do you want?”の単元で栄養士から「さまざまな野菜(フルーツ)を組み合わせて給食で出せるサラダのレシピを考えてほしい」というビデオメッセージを送りました。食材の言い方や欲しいものを尋ねたり要求したりする表現を学習し完成したサラダが1月からの給食に登場予定です。

